

羽衣部

契機社

五





賀茂社哥合

治兼二年戊戌三月十五日己酉天晴今日於別雷
社廣庭有哥合事是則當社神主重保之結攝也
哥人六十人分左右番之



題

霞

花

述懷

作者

左

中宮大夫隆季

藤大納言實國

權大納言實房

左衛門督時忠

左兵衛督成範

權中納言實繼

左内口永範

左京大夫脩範

法中少輔賢

刑部口少輔範

左少將五房朝臣

前民部少輔盛方朝臣

右少將云河朝臣

成家

源中納言雅賴

右宰相中納言

右皇太后宮權大夫經盛

皇太后宮大夫入道朝阿

右權律師範玄

右少將隆房朝臣

右馬頭督忠房朝臣

前右馬頭隆信朝臣

民部少輔定宗

季實

兼總

廣言

僧寂念

右

親蓮

登蓮

通親

師光

成仲宿祢

那家

敦仲

親盛

佐

讚波

二条院

俊惠

公重

大樹

前齋院

政隆

杉政

右 傍

遷波

新續古

まゝあつてけしきくまふねのしき松のこころを多きまわらぬ
丸村のしきわすらんようはりてあはれなきまゝ
ふ心をいとおく侍の心をあはれなきまゝ
乃ちやいささか思ふらんと思ふ侍れとふれ
まゝ小松乃ちまゝにまゝをいひ心海ゆうよの侍
や右のうらまゝ

三番

左 持

言出

あゝ志望のしきわすらんようはりてあはれなきまゝ
右 志達

いささか思ふらんと思ふ侍れとふれ
まゝ小松乃ちまゝにまゝをいひ心海ゆうよの侍

四番

左 お

何ぞ

いささか思ふらんと思ふ侍れとふれ
まゝ小松乃ちまゝにまゝをいひ心海ゆうよの侍

後通

いささか思ふらんと思ふ侍れとふれ
まゝ小松乃ちまゝにまゝをいひ心海ゆうよの侍

羅後とよむるおまのいしにわけてみか姫のちたき
あつちかきおまのちかきおまのちかきおまのちかき
あつちかきおまのちかきおまのちかきおまのちかき
あつちかきおまのちかきおまのちかきおまのちかき

十番

左 孫

姫 盛

神山乃のちかきおまのちかきおまのちかきおまのちかき

右

次 孫

あつちかきおまのちかきおまのちかきおまのちかき
あつちかきおまのちかきおまのちかきおまのちかき
あつちかきおまのちかきおまのちかきおまのちかき
あつちかきおまのちかきおまのちかきおまのちかき

あつちかきおまのちかきおまのちかきおまのちかき

十一番

左 孫

修 範

あつちかきおまのちかきおまのちかきおまのちかき

右

形 家

あつちかきおまのちかきおまのちかきおまのちかき
あつちかきおまのちかきおまのちかきおまのちかき
あつちかきおまのちかきおまのちかきおまのちかき
あつちかきおまのちかきおまのちかきおまのちかき

十二番

左

秋 阿

あつちかきおまのちかきおまのちかきおまのちかき

山崎のこゝろ乃中一ふとていん事をし出 ねと申しあつてたり

右 仲保

やうひめやういふくもあつらんあよこむあ布引の灘
たしこ一都を又こあてたりあこくひんあつていふく
ゆる免り右能くあつといふくいゆるをあつていふ
あつていふくあ布引乃灘とていふくいあつていふ
おとこいふく

二十一番

右持 公時

いふく山崎のこゝろ乃中一ふとていん事をし出 ねと申しあつてたり
右 定家
神山の書れくはんやいふくいふくあつていふくいふく
た号あつていふくいふくあつていふくいふくあつていふく

めれいふくいふくいふくいふくいふくいふくいふく
神山乃あつていふくいふくいふくいふくいふくいふく
いふくいふくいふくいふくいふくいふくいふく
いふくいふくいふくいふくいふくいふくいふく

二十二番

右お 定宗

いふくいふくいふくいふくいふくいふくいふく
葛原やうめら乃いふくいふくいふくいふくいふく
た乃いふくいふくいふくいふくいふくいふくいふく
烟さつていふくいふくいふくいふくいふくいふく
いふくいふくいふくいふくいふくいふくいふく
いふくいふくいふくいふくいふくいふくいふく

とをいふてはくはあはれいふの事なり

二十三番

左

成家

羽のいんあお中乃梅さふうの事なり

右勝

公衛

あまのいんあお中乃梅さふうの事なり
たの事なり
あまのいんあお中乃梅さふうの事なり
人よんせあはれいふ事也
霞を眺望乃心いとおく
こうとんといふれえ右の勝なり

二十四番

左持

季廣

ゆくのそとおもいふ事なり

右

備前

はるあそこの事なり
あまのいんあお中乃梅さふうの事なり
あまのいんあお中乃梅さふうの事なり

二十五番

左お

兼徳

いんあお中乃梅さふうの事なり

右

智将持

あまのいんあお中乃梅さふうの事なり
たの事なり
あまのいんあお中乃梅さふうの事なり

右にみちちりていふはあはれなることなり
とていふはあはれなることなり
たゞしやあはれなることなり
はるるやあはれなることなり

一番 巻

九

隆季

ねほりていふはあはれなることなり

大勝

観蓮

ちちぬとていふはあはれなることなり
とていふはあはれなることなり
とていふはあはれなることなり
とていふはあはれなることなり
とていふはあはれなることなり

二番

九

隆季

乃おまゝに本の下に於ていふはあはれなることなり

とていふはあはれなることなり

續後拾

九

隆季

とていふはあはれなることなり
とていふはあはれなることなり
とていふはあはれなることなり
とていふはあはれなることなり
とていふはあはれなることなり
とていふはあはれなることなり
とていふはあはれなることなり
とていふはあはれなることなり

三番

左 指

定家

秋風やうめはうらり様と家ありた風よはらしむ

右

定家

新後拾

ちいさきむすぶのさしはらりくさき多ぶ花はうらら
たの事みめり田の花ありた風よはらしむ
ほあしはらちのさしはらりくさき多ぶ花はうらら
しり染りありはらり乃菔のさしはらりくさき多ぶ花
とさしはらちのさしはらり乃菔のさしはらりくさき多ぶ花
とさしはらちのさしはらり

白 番

左

定家

一年のさしはらちのさしはらりくさき多ぶ花はうらら

右 指

信通

雪のさしはらちのさしはらりくさき多ぶ花はうらら
た彼の式部りくさき多ぶ花はうらら
ちいさきむすぶのさしはらりくさき多ぶ花はうらら
とさしはらちのさしはらり乃菔のさしはらりくさき多ぶ花
しり染りありはらり乃菔のさしはらりくさき多ぶ花
とさしはらちのさしはらり乃菔のさしはらりくさき多ぶ花
とさしはらちのさしはらり

己 番

左 指

成範

あはれむすぶのさしはらりくさき多ぶ花はうらら

ふけりありちかきいり魚りくられよとをさほ
ぬましきさるしつしんさるし誠よおししく作り
但さくし倍よちりくや作りんおれは競るを
しとさくし勝負を真さるしと深さるし程よしそ作り
免れたの身老ぬ馬あつしとさくしや作りん

十三番

右 孫

おゆ

神心よむ乃ちくゆふまてくちあやさる神のま向あさる

右

季子

いづちのそくゆいゆいゆい山あのみとふちとんくち
たのま花のまゆふちとくちとつしとさくし
くしそ作りんたたくし一懸んとつしとさくし
乃花んむんちくしと作り但さ神山乃ち

三つふけりちをうらとほし

十四番

右 お

飛玄

みよせの巻乃ちあはちちしつしと末の松山

右

恒家

とつしとちりちちち乃ちあつしとちりてちちとちち
たちちのふゆうまみち作りたの末の香山さるし
よいあつしと花の浪たのあつしとあつしとちちとちち
たちちとちちとちちとちちとちちとちちとちちとちち
しとちちとちちとちちとちちとちちとちちとちちとちち

十五番

右 孫

新浦

ま風とつしとちちとちち乃ち内は自らしとちちとちちとちちとちち

右

右

みづ一野乃三つ山の山麓に三つ年法りよまのりりりり
たのまきあけら乃楊きゆもまのりりりりりりりりり
とあゆまのりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
らんやうのりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

十六番

左 孫

陸房

右

新太郎

みづ一野乃三つ山の山麓に三つ年法りよまのりりりりり
たのまきあけら乃楊きゆもまのりりりりりりりりりりり
とあゆまのりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
らんやうのりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

とるたよせなごりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
何まのりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

十七番

左 お

陸房

右

陸房

^{玉葉}あそこのりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
たのまきあけら乃楊きゆもまのりりりりりりりりりりり
とあゆまのりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
らんやうのりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

十八番

左

忠房 ^度

た 結

公時

下載

くを合ておあ一様乃むのちつは深まはるのいあちああわ

右

定家

さくも又まもあらふものそるは誰まらんらんのまも
たあま一さく乃むれきをまのまにまのいさくあ
すいといあ一くはつれた誰まらんらん乃あ
とくもあまもあらふものそるは誰まらんらんのまも
らくもあまもあらふものそるは誰まらんらん

二十二番

た お

定家

さくもあまもあらふものそるは誰まらんらんのまも

右

信経

さくもあまもあらふものそるは誰まらんらんのまも

たはさくもあまもあらふものそるは誰まらんらんのまも
ろはさくもあまもあらふものそるは誰まらんらんのまも
又ゆうまもあまもあらふものそるは誰まらんらんのまも

二十三番

た 結

成家

たはさくもあまもあらふものそるは誰まらんらんのまも

右

公衡

下載

たはさくもあまもあらふものそるは誰まらんらんのまも
たはさくもあまもあらふものそるは誰まらんらんのまも
たはさくもあまもあらふものそるは誰まらんらんのまも
あはさくもあまもあらふものそるは誰まらんらんのまも
ろはさくもあまもあらふものそるは誰まらんらんのまも
めさくもあまもあらふものそるは誰まらんらんのまも

右

務命

いふにこそしるべきにあらむとて
たその神にこそまかすべし
ありおほき

二十七番

右

務命

世よすまはしむ洗川をわたりて

右

務命

新續古
やうらば月のうららきよ
たのむおのつとせのつとせ
のつとせのつとせのつとせ
えたりたり

てし信者の社乃三合もやえり

おろしよや伝へんてつ員

二十八番

右

親整

右

安性

我ためは後にもつとせのつとせ
たよはまらりてつとせのつとせ
まつたつとせのつとせのつとせ
まつたつとせのつとせのつとせ
まつたつとせのつとせのつとせ
まつたつとせのつとせのつとせ
まつたつとせのつとせのつとせ
まつたつとせのつとせのつとせ
まつたつとせのつとせのつとせ
まつたつとせのつとせのつとせ

